



住民同士 支え合いのカタチ

本格的な超高齢化社会へ突入した今、社会を支えることは、行政や福祉の専門職だけでは困難です。そこで市では、2月から「介護予防・日常生活支援総合事業」を始め、住民同士が支え合い、住み慣れた地域で暮らし続けるためのまちづくりを進めていきます。

☎高齢者支援課 ☎7167-1135

支え合いの街に向けて

今後は高齢者だけの世帯の増加が予測され、ごみ出しや買い物など、日常生活のちょっとした困りごとを抱える高齢者への対応が求められます。市ではこうしたニーズに対応するために、地域の顔なじみのかたちで助け合う体制作りを推進しています。

体制作りの一つとして、市内を20地域に分け、各地域で「支えあい会議」を実施。この会議では、NPO団体や福祉活動の経験がある「地域支えあい推進員」が中心になって、町会や地域のかたちなどと共に各地域に合わせた生活支援や提供するサービスを話し合います。



できることから始めましょう!

風早南部地域 地域支えあい推進員
賀数 佳子さん



住み慣れた地域で生活し続けるためには、安心できる環境作りが必要です。各地域で抱えている問題が異なるため、支えあい会議では町会や福祉の専門職などのさまざまな関係者の声を聞いて、地域に合わせた取り組みを考えます。また、こうした取り組みを実際に行う担い手の存在も、とても重要です。支え合いの形はすぐにできるものではなく、地域の人と人との信頼関係が大切です。まずは、身近な人との出会いを大切にすることから始めてみませんか。

一人暮らし宅の蛍光灯を地域住民が取り換える▶



次ページでは
実際に住民同士が支え合う
取り組み事例を紹介

「住民同士、支え合いのカタチ」の続きは2面へ▶▶▶

1面からの続き「住民同士、支え合いのカタチ」▶▶▶

支え合い活動の事例を紹介

地域の住民による支え合い活動は大きく2種類、助けが必要なかたの自宅を訪問する「たすけあいサービス」と地域での居場所作りを行う「地域サロン・コミュニティカフェ」があります。これらの活動を先進的に行っている地域のうち、2つの取り組みを紹介します。



自宅を訪問して高齢者を支える

たすけあいサービス

町会やふるさと協議会、NPO等の団体が自宅を訪問してサービスを提供します。蛍光灯の交換や家事など日常生活の中でのちょっとした困りごとをお手伝いします。

事例① 大津ヶ丘・塚崎地区

大津ヶ丘・塚崎地区は今後高齢者人口が4割に達すると予測され、市内でも高齢化率が高い地域の1つです。そこで地域で高齢者を見守る「おたがいさまの会」を平成25年に立ち上げ、住民同士で買



▲ごみ出しをお手伝い

い物や調理などの家事から、病院への付き添い、ごみ出しなど、日々高齢者が抱えている困りごとを解決！利用者から依頼があればできる限り応えることを目指して活動しています。

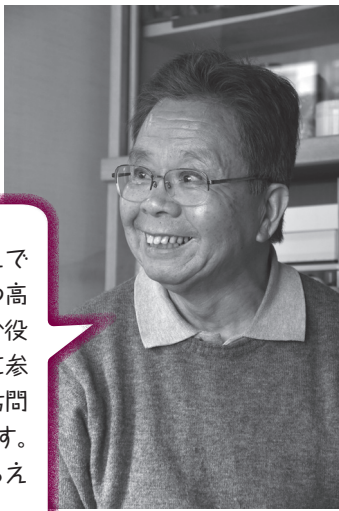


▲電池の交換など、ちょっとしたお手伝いが安心に

「地域の担い手に聞きました！」

同地区で活動する三村雅則さん

民生委員の活動の中で、重い荷物を運んでけがをしたなど日常生活で困りごとを持つ高齢者が増えていることを知りました。何か役に立てないかと思い、このボランティアに参加しました。今では連絡があったお宅を訪問し、ごみ出しなどのお手伝いをしています。利用者のかたに「ありがとう」と言ってもらえることが、私の原動力となっています。



高齢者が集う地域の居場所

地域サロン・コミュニティカフェ

住み慣れた地域で健康作りや介護予防に取り組めるよう、居場所作りをします。地域のかたが集まることで、人とのつながりや支え合いが生まれることを目指します。

事例② 柏ビレジ地区

柏ビレジ地区では、商店街の空き店舗を住民のコミュニケーション空間にしようと、平成18年に「コミュニティカフェ はなみずき」を設立。飲食スペースのほかにも、ジャズコンサートなどのさまざまなイベントを行っています。自治会やボランティア同士で協力しながら、多世代のか



▲昨年開催されたクリスマスイベント

たに喜んでもらえる居場所を提供しています。



▲ボランティアが工夫を凝らしたメニューを提供

ボランティア同士で、提供するメニューやイベントを話し合い、季節感や地域に合ったものを提供するようにしています。利用者の中には「ここに来ることで明日への元気をもらっています」と言葉をかけてくださるかたもいて、やりがいを感じています。



▲約60人のボランティアの皆さんが「はなみずき」で活動中

地域の支え合い活動に参加しませんか？

活動に参加
したいかた

支え合い活動に参加したいかたには、お近くの活動団体を紹介します。柏市社会福祉協議会へご連絡ください。

団体を立ち上げ
たいかた

助け合い活動団体を立ち上げたいかたへ向けた講座を行います。

「たすけあいサービスのつくり方 入門編」

時4月6日・13日・20日の各水曜日午後1時30分～3時30分(計3回) 所いきいきプラザ

対象市内在住のかた、40人 内容団体の立ち上げや運営のポイントなどを学びます

申込3月10日(木)までに、はがきに住所・氏名(ふりがな)・年齢・性別・電話番号・講座名を書いて、〒277-0005柏5丁目8-12 柏市社会福祉協議会へ郵送(必着)するか☎7165-1355で※応募者多数の場合は抽選

問柏市社会福祉協議会 ☎7163-9001

市では来年度から、たすけあいサービスや地域サロン・コミュニティカフェの活動について、新たに運営費などの助成を行う予定です。お問い合わせは、高齢者支援課まで